

## 競技注意事項

1. 本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に準じて行われる。
2. 本大会で8位までの入賞者は北陸地域陸上競技選手権大会の出場権を与える。
3. 選手招集方法について
  - ①招集場所は、雨天走路内100mスタート側に設ける。
  - ②招集時刻（最終点呼について）
    - ・最終点呼の開始時刻については、トラック種目は競技開始時刻の30分前フィールド種目は50分前から行うので、招集開始時刻5分前までには招集場所に集合し、競技場所への誘導は審判の指示に従うこと。なお、棒高跳とハンマー投げは競技場所で最終点呼を実施する。その際必ずナンバーカードが付いたユニホームを着用すること。（ハンマー投げは投擲場で棒高跳びはピットで競技開始60分前から行う）
    - ・完了時刻は競技日程時刻の（ ）内に示してある時刻とする。
    - ・招集完了時刻に遅れた場合は当該種目を棄権したものとする。
  - ③スタートリストはプログラム記載の競技開始時刻60分前より掲示する。**棄権する場合はそのスタートリストに招集開始時刻までに×印を付けること。なお、決勝を棄権する場合は必ず「棄権届」を予選・準決勝終了後30分以内に競技者係に提出すること。**
  - ④リレーのオーダー用紙の提出時刻は、**第1組目の招集開始時刻1時間前までに招集所に提出すること。**（用紙はプログラム掲載用紙使用か、もしくは招集所に用意する）
4. ナンバーカードについて
  - ①ナンバーカードは胸・背部につけ、トラック種目に出場する競技者は右腰部にも付けること。なお、跳躍競技の競技者は背または胸部のどちらか一方でもよい。また、中学生は胸・背部はプログラム記載のナンバー、腰は自校で準備したレーンナンバーを付ける。
  - ②レーンナンバーカード使用について
    - 3点・・・1500m以上の中長距離種目
    - 腰のみ・・・100m（決勝）、800m（予選・決勝）、競歩種目、400mRアンカー（予選・決勝）、1600mRアンカー（予選・決勝）
5. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
6. 以下の種目は予選記録上位8名が決勝進出とする。**決勝を棄権する場合は、正式記録発表後30分以内に競技者係もしくは本部へ申し出ること。この場合は、次記録上位者を決勝進出方式を取る。**  
 ○男女100m ○男女200m ○男女400m ○男女800m ○ハードル種目
7. 男女5000m・10000m・競歩種目は参加人数により同時スタートで実施する場合がある。
8. 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（ただし、天候等で変更もあり得る。）

### 走高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後3cm ずつあげる
男子	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	
女子	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	

### 棒高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	以後10cm ずつあげる
男子	3.00,3.50,4.00	3.10	3.30	3.50	3.60	3.70	3.80	
女子	1.50,2.50	1.60	1.80	2.00	2.10	2.20	2.30	

（\*三段跳びの踏切線は砂場より男子12mとし、女子は8mとする。）

9. 競技用具は競技場備えている器具を使用する。
10. スタート合図はイングリッシュコマンド制を採用する。  
（不正スタートによる失格は新ルールを適用する。）
11. その他
  - ①スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下とする。
  - ②競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
  - ③競技場内に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は本連盟ルールブック「競技会における広告物及び展示物に関する規定」に従うこと。
  - ④ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することや所持することは助力とみなすので、最終点呼を受けた後は、使用したり、所持はしないこと。失格の対象となる。
  - ⑤県外登録者の競技参加の扱いは大会要項に準ずる。
  - ⑥男女5000m競歩は制限時間を設ける。（男子30分・女子35分を超えて次の周回に入らない）
  - ⑦フィールド種目は参加人数により計測ラインを設けることもある。